
ピアノシモ

小町

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピアニシモ

【Nコード】

N8592Y

【作者名】

小町

【あらすじ】

引っ込み思案な水瀬唯は放課後の第2音楽室で人生を変えるピアノの音に出会った。優しくもどこか冷たい演奏をする少年、祐一に惹かれていく唯。頑なな祐一。2人は分かり合うことが出来るのか。友人の発想（妄想？）を基に突発的に書いてしまいました。

第一楽章（前書き）

一応私の処女作です。至らない点が多々あるとは思いますが、少しでも楽しんでいただければ幸いです。

第一章

新学期ほど憂鬱なものはない。

新しい環境にどうにか自分の居場所を作ろうと必死になるクラスメイトを横目に、水瀬唯はため息をついた。

自分の席が窓側の一番端であったのは良かった。前から3番目ではあるが。朝のニュースでみた占いも2位であったし、ラッキーアイテムの水色のハンカチもすっかり持ってきた。

なのに、それなのにこの仕打ちはどういうことだ。

高校最

後の1年を、唯一高校でできた友達であり親友の、中山希美と違うクラスで過ごさなければならぬなんて。

自他共に認める超人見知りの彼女にとってこれはまさに死活問題であった。

これから1年、孤独に過ごすなんて嫌だ。かといって自分から他人に話しかけるなんて絶対にムリだ。足はガクガクと震えるし、尋常じゃないほどの汗は流れるし、白眼を剥きそうになる。そうだったら間違いない変人のレッテルを貼られる。終わった。嗚呼、さらば私の青春。これからはただひたすらに毎日を過ごしてい「唯っ!! ！！いい加減帰ってこい。」

『希美い！会いたかったよ〜！！！！』

聞き慣れた声に振り向くと希美が呆れた顔をして立っていた。

「あんだねえ、たかが数十分離れてただけでしょーがつ。心配して様子を見に来てみれば、やっぱり自分の世界に入り込んで絶望してるし。そんなんでこの先やっていけんの!？」

『うつ……頑張りマス。』

「まったく。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8592y/>

ピアニシモ

2011年11月25日20時55分発行